

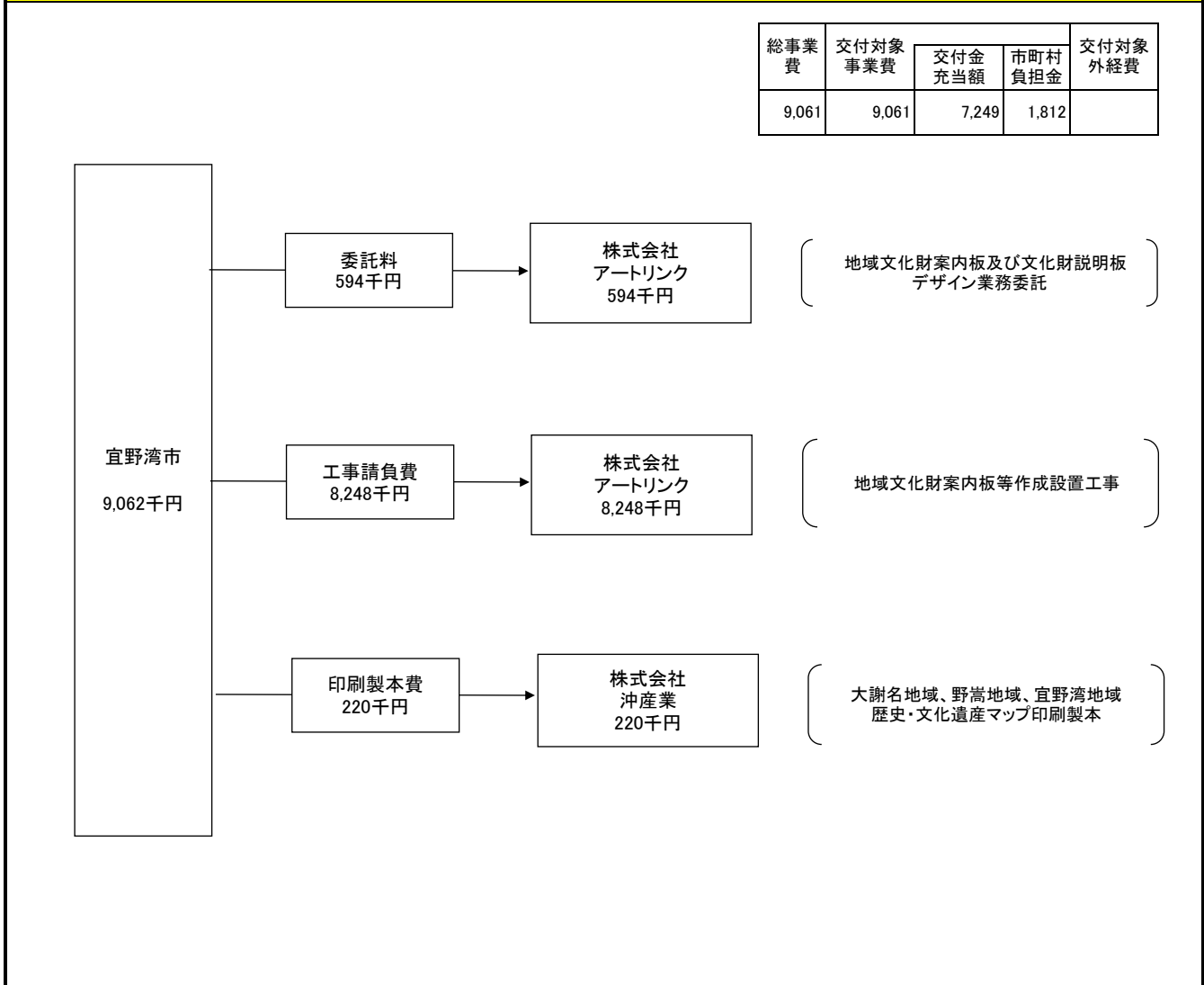
市町村名		宜野湾市					
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	文化財説明板・標識設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受け入れ体制の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」設置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,106		9,327		
		(b) 予算現額	2,106		9,062		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 265	0	
		(d) 繰越額		1,749		8,733	
		A. 計(b+d)	2,106	1,749	9,062	8,733	
		B. 執行済額	676	671	594	8,467	
		うち交付金充当額	540	536	475	6,774	
		次年度繰越額	1,749		8,733		
		執行率(%) (B/A)	32.1%	38.4%	6.6%	97.0%	
予算の状況の説明	R2年度 地域文化財案内板等のデザイン作成 594千円 R2繰越 歴史文化遺産マップ作成 220千円 地域案内板作成設置工事 8,247千円 ※設置予定自治会との設置個所や内容の調整に不測の期日を要したため、地域文化財案内板等の設置に係る工事請負費とマップの印刷製本費を繰り越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	文化財に文化財説明板と標識を作成設置する。 地域文化財案内板を自治会事務所等に設置する。	目標	案内板及び説明板のデザイン作成	()	()	()	()
		実績	案内板及び説明板のデザイン作成				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	R2年度は、地域文化財案内板及び財説明板のデザインを作成し、R3年度は、地域文化財案内板及び文化財説明を作成・設置した。また、大謝名、野嵩、宜野湾地域の歴史文化遺産マップを作成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	文化財標識・説明板設置件数 2件 地域文化財案内板 5件	目標	()	(7件)	()	()	()
		実績		8件			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	地域文化財案内板(大謝名地域3件、野嵩地域2件、宜野湾地域1件)計6件、文化財説明板(大謝名メーヌカー、大謝名の獅子舞各1件)計2件を設置した。地域の文化財情報を発信できるようになったことにより、訪れる方への地域の自然、歴史、文化に対する知識と理解が深められ、地域に愛着と誇りを育める「地域アイデンティティ」創出の糸口となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 指定・登録文化財の保護・活用が図れるよう、市民の方々への啓発の充実が望まれている。 指定・登録文化財等の場所の問い合わせが多く寄せられている。 訪れた文化財の詳細な情報提供が求められている。 文化財周辺の開発(宅地建設等)があり、標識等の設置ができない文化財がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史と文化を今に伝える文化財の保護・利活用を図るために、文化財教室等(市主催の講座)において周知する。 文化財の場所、情報が市民や訪れる方へわかりやすく、身近に感じられるよう、作成・設置する必要がある。 対象となる文化財・地域の現状を踏まえて、関係者と調整し、標識を作成・設置する必要がある。 様々な工夫を行い、文化財の詳細な情報を提供できるようにする。

今後の取り組み方針

・文化財の所在する各区自治会・所有者・地域住民・来訪者・文化財ガイド等の意見・要望等を十分に反映させて実施する。
 ・作成したパンフレットの配布や市HPへの掲載等を行う。必要に応じて再印刷・配布を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

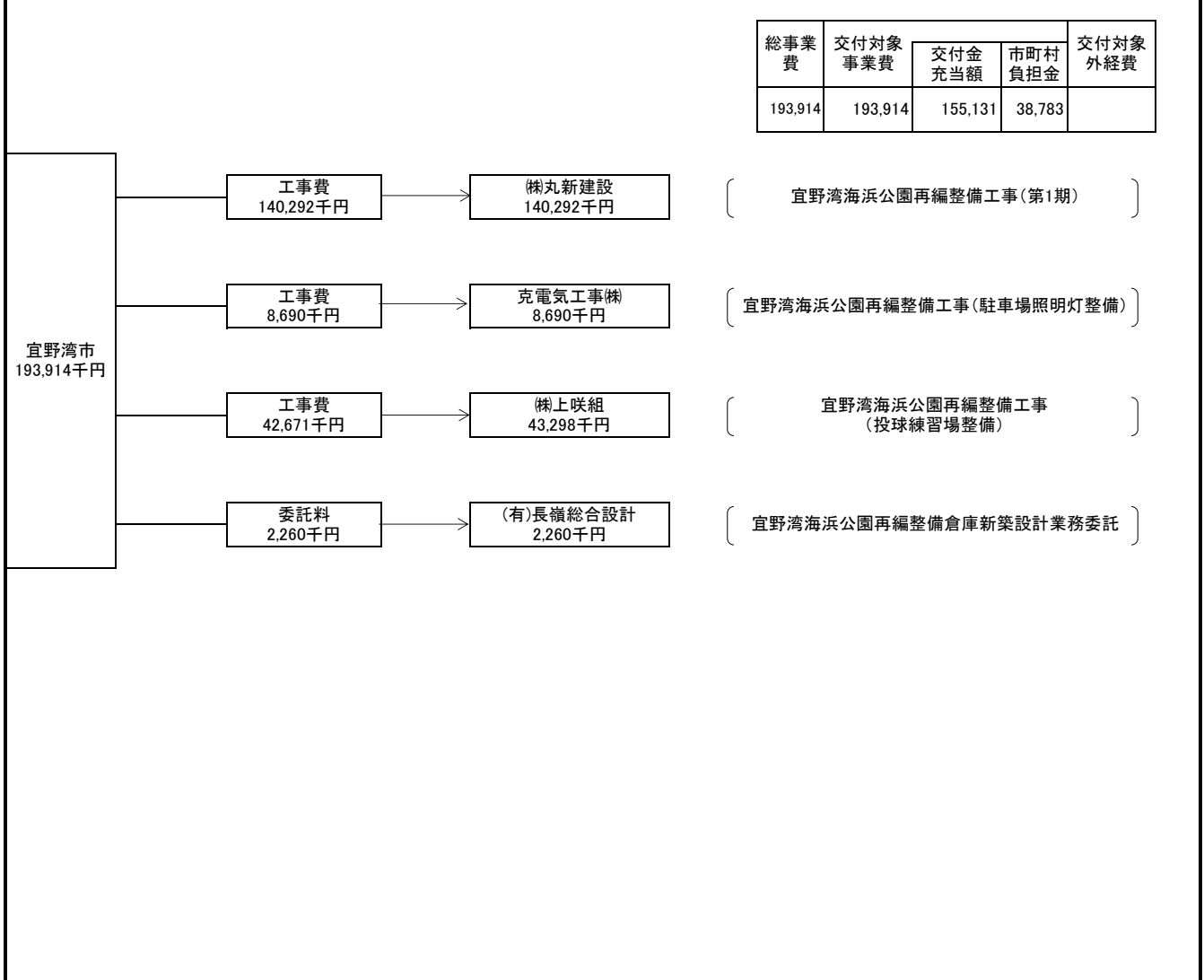


資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宜野湾市					
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	宜野湾海浜公園施設等再編整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(イ)	
担当部署名	建設部 施設管理課	事業実施(予定)年度	平成30~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興		
事業内容	地域住民の福祉の向上、質の高い文化芸術公演に触れる機会の確保及び観光誘客を図るため、宜野湾海浜公園及びその周辺の整備に係る工事を行った						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	86,671	194,777			
		(b)予算現額	43,835	194,777			
		(c)増減額(b-a)	▲42,836	0	0	0	
		(d)繰越額		0	45,794		
		A.計(b+d)	43,835	194,777	45,794	0	
		B.執行済額	43,835	148,983	44,931		
		うち交付金充当額	35,068	119,186	35,945		
		次年度繰越額	0	45,794	0		
		執行率(%) (B/A)	100.0%	76.5%	98.1%	#DIV/0!	
予算の状況の説明	宜野湾海浜公園施設等再編整備において、第1期工事(駐車場増設)・サブグラウンド整備・投球練習場整備・倉庫建築設計のうち、駐車場増設及びサブグラウンド整備を実施した。投球練習場整備及び倉庫建築設計については、管理台帳にない不明埋設管が現場内に確認され、配管切り直し移設工事が発生したことにより作業に不測の日数を要したため調整に不測の時間を要し、工事費にかかる44,931千円をR3年度へ繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	建築及び土木工事(1期)の実施	目標	(整備基本計画策定)	(実施設計完了)	(第1期工事・サブグラウンド整備・投球練習場整備・倉庫設計)	()	
		実績	整備基本計画策定	実施設計実施	第1期工事及びサブグラウンド整備実施		
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	令和2年度に第1期工事(駐車場増設)及びサブグラウンド整備を完了し、令和3年度に投球練習場整備及び倉庫建築にかかる設計業務を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(4年度)
	建築及び土木工事(1期)の完了	目標	()	(整備基本計画の策定)	(実施設計完了)	(第1期工事・サブグラウンド整備・投球練習場整備・倉庫設計完了)	()
		実績		整備基本計画策定	実施設計実施	第1期工事及びサブグラウンド整備実施	
	整備後(R4)施設利用者数 611,000人	目標	()	()	()	()	(611,000人)
		実績					
進捗状況説明	宜野湾海浜公園施設等再編整備については、令和2年度に第1期工事として駐車場整備の増設及びサブグラウンド整備が完了し、令和3年度に投球練習場整備及び倉庫設計が完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・再編整備工事の際は、公園利用者への影響を最小限とするよう配慮する。公園利用者と工事作業動線を適切に区分し、影響が最小限となるよう留意する。</p>	<p>・再編整備工事の工区分けを行い、優先度を付けて今後も整備を行っていく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・宜野湾海浜公園再編計画に基づいて整備工事を行い、公園施設の機能強化を図る。整備完了後も計画的・効率的な施設の管理運営を実施し、観光客や公園利用者の利便性向上を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

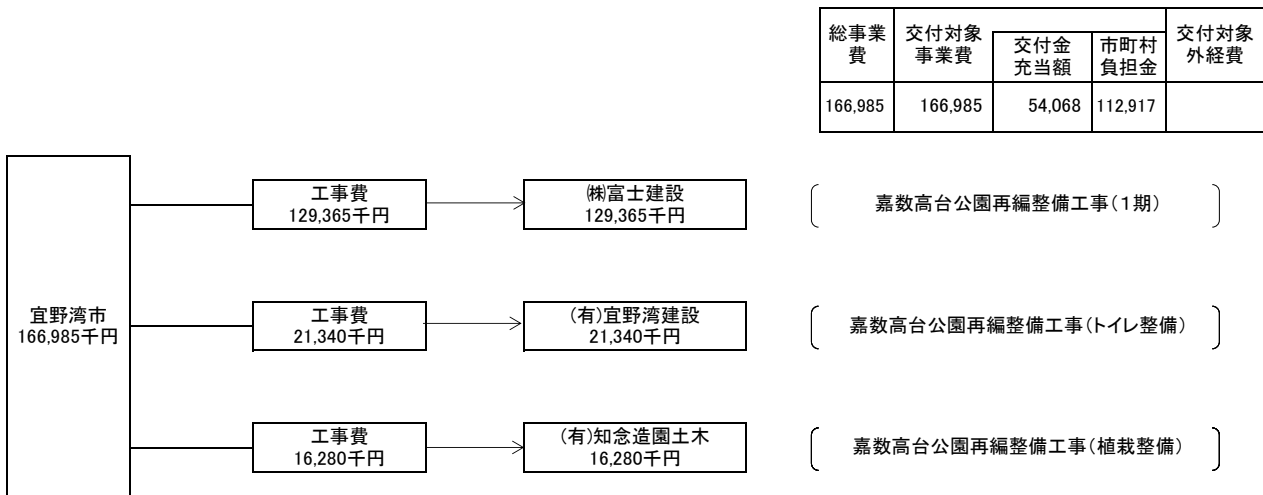


資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算は実績と見積から積算し、適正な規模と認識している。 ○費目・用途については、精算段階で検査・検収を実施しており、事業目的に即して適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	嘉数高台公園施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)		
担当部署名	建設部 施設管理課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	戦跡等もあり観光地としての側面もある嘉数高台公園において、来園者の利便性を図るため、公園施設を含めた再編整備工事を行った。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,633	16,830	180,704		
		(b)予算現額	4,104	15,840	180,704		
		(c)増減額(b-a)	▲529	▲990	0	0	
		(d)繰越額				128,958	
	A. 計(b+d)		4,104	15,840	180,704	128,958	
	B. 執行済額		4,104	15,840	51,746	115,239	
	うち交付金充当額		3,283	12,672	41,396	92,192	
	次年度繰越額				128,958		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	28.6%	89.4%	
予算の状況の説明		嘉数高台公園再編整備事業において、第1期工事を実施したが園路の雨水排水設備工事において、園路沿いの既存植栽の影響で工法の再検討が必要になり不測の時間を要したため、工事費にかかる115,239千円をR3年度へ繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	建築及び土木工事(1期)の実施		目標 (整備基本計画策定)	(実施設計完了)	嘉数高台公園施設整備工事(第1期)完了	嘉数高台公園施設整備工事(第2期)完了	
			実績 整備基本計画策定	実施設計完了	嘉数高台公園施設整備工事(第1期)繰越	嘉数高台公園施設整備工事(第2期)繰越	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		嘉数高台公園施設整備工事(第1期)を実施しているが調整に不測の事態を生じ年度内に完了することができず、次年度に繰越を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	建築及び土木工事(1期)の完了		目標 ()	(実施設計完了)	嘉数高台公園施設整備工事(第1期)完了	嘉数高台公園施設整備工事(第2期)完了	()
			実績	実施設計完了	嘉数高台公園施設整備工事(第1期)繰越	整備工事(第1期)完了(第2期)繰越	
	【R4成果目標】 戦跡等を活用した観光地としての利便性の向上が図られたか(80%以上)を含め、観光客や市民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	()	()	()	(80%以上)
			実績				
進捗状況説明		嘉数高台公園施設整備工事(第1期)を実施しているが調整に不測の事態を生じ年度内に完了することができず、次年度に繰越を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 再編整備工事の際は、公園利用者への影響を最小限とするよう配慮する。また、周辺が民家のため、工事の事前周知、協力願いなどを行い、苦情などで工程に影響がでないよう努める。 公園に常駐する管理人がいないため、利用者満足度の測定が困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> 再編整備工事の工区分けを行い、優先度を付けて整備を行っていく。 今後、公園利用者の満足度調査について業務委託により実施することについて検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>・整備による施設の利用価値向上に伴う利用者ニーズのモニタリング等を実施し、指定管理者と連携を緊密にし、更なる価値向上を図る。整備完了後も計画的・効率的に施設の管理運営を実施し、観光客や利用者の利便性の向上を図る。</p>		

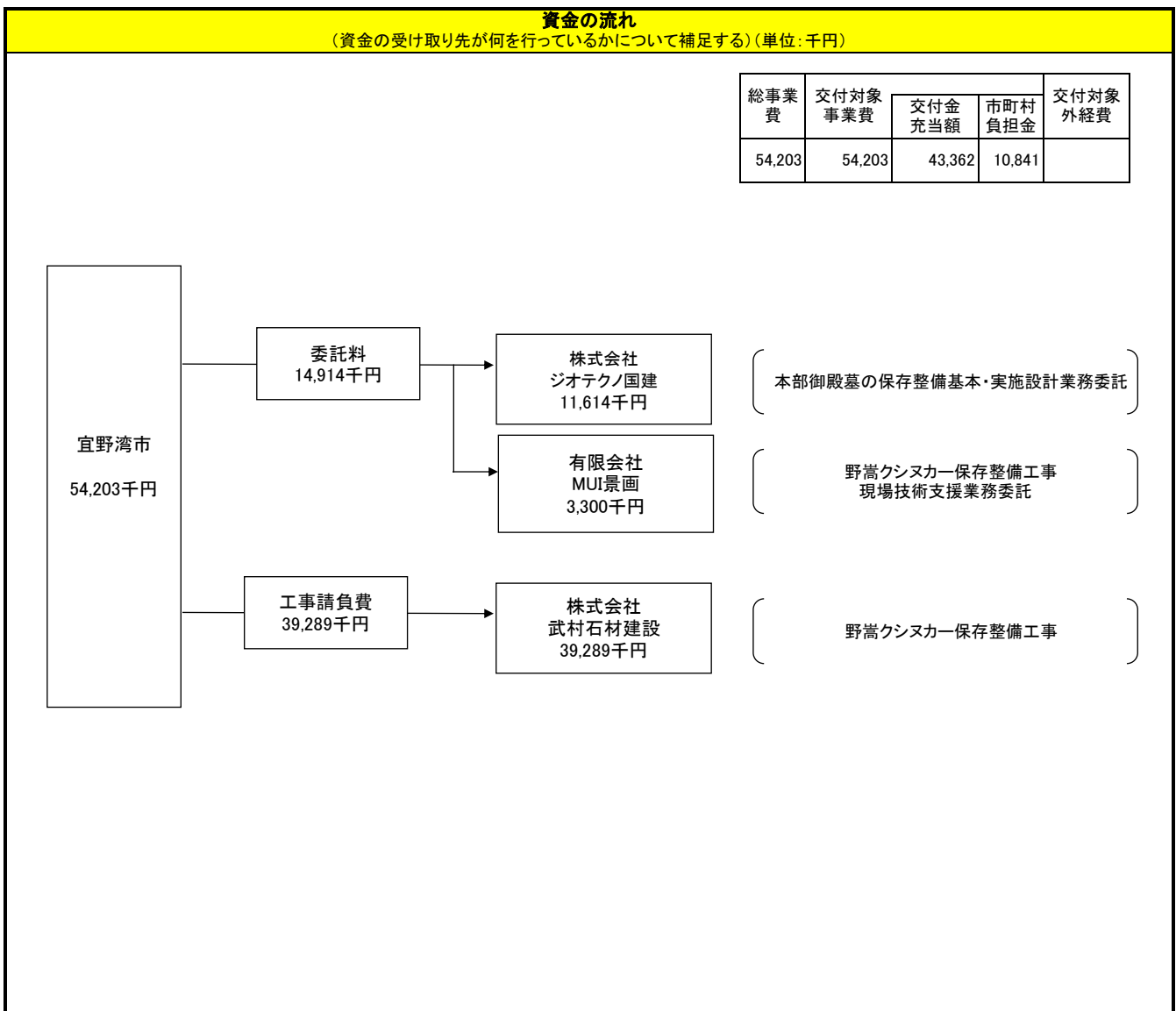
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算は実績と見積から積算し、適正な規模と認識している。 ○費目・用途については、精算段階で検査・検収を実施しており、事業目的に即して適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野湾市						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	文化財保存整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
担当部署名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)		
事業内容	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行い、市の歴史・文化の継承を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R5年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		18,274		54,634		
			18,274		54,634		
			0	0	0	0	
				17,413		27,709	
		18,274	17,413	54,634	27,709		
	B. 執行済額 うち交付金充当額		864	13,750	26,925	27,278	
			691	11,000	21,540	21,822	
		17,413		27,709			
		4.7%	79.0%	49.3%	98.4%		
予算の状況の説明 R2 本部御殿墓の基本実施設計 R2繰越 野嵩クヌカカー保存整備工事 野嵩クヌカカー現場技術支援業務委託 ※整備予定箇所の所有者との調整に不測の日数を要したため工事請負に係る27,709千円を繰り越した。							
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	野嵩クヌカカーの保存整備工事と、本部御殿墓の基本実施設計を行う	目標	()	(野嵩クヌカカー保存整備工事)	()	()	
		実績		野嵩クヌカカー保存整備工事			
	本部御殿墓の基本実施設計	目標	(本部御殿墓基本実施設計)	()	()	()	
		実績	本部御殿墓基本実施設計				
達成状況説明 R2年度に、本部御殿墓の保存整備基本・実施設計業務委託を実施し、R3年度、野嵩クヌカカー保存整備工事を実施、また、工事に伴う現場技術管理を委託し、野嵩クヌカカーの石積整備等を完了した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	野嵩クヌカカー保存整備工事 1件	目標	()	()	(1件)	()	()
		実績			1件		
	本部御殿墓の基本実施設計 1件	目標	()	(1件)	()	()	()
		実績		1件			
進捗状況説明 野嵩クヌカカーの保存整備工事を完了し、各種見学会の開催での案内ができ、市内外の方々に野嵩はもとより宜野湾市の湧水の魅力を伝えることができた。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 多くの文化財は地域の拜所として所在地に住む方々の信仰の対象であり、また、見学の対象として多くの方が現地を訪れるが、長年の風雨等により、石畳の表面の摩耗、石垣のはらみや崩落や損壊などがみられ、文化財の価値を損ねている。 修復が必要な指定文化財がある一方、整備計画等がなく、いち早く整備に取り掛かれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象となる文化財の現状を踏まえ、文化財的価値を回復させるよう、また、当該文化財の利活用に向けて事業立案時より、所有者・地域住民・来訪者(文化財めぐりの参加者等)・学識経験者から十分に意見・要望等を徴した後に整備に着手する必要がある。 各指定文化財ごとに整備計画をたて、崩落状況や整備環境などから優先順位を検討する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 各文化財の所有者・地域住民・来訪者及び学識経験者等の意見・要望等を十分に反映させ、課題を解決し、安全性を優先しつつ整備を行う。 保存整備が必要な文化財が多くあるため、それぞれの文化財活用までも視野に入れた整備計画をとりまとめ、優先順位を決めて行う必要がある。 		



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○工事業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。委託も実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保されており、妥当である。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	